

北海道生物多様性保全ダイアログ

～保全計画改定への期待～



オンライン開催の様子
(配信場所：EPO北海道)

本企画では、北海道生物多様性保全計画改定に向けて、主要な論点を専門家とともに学び、意見交換をしてきました。登壇者から出た意見をご紹介します。

2. 環境保全はなぜ難しいのか～ 政策における合意形成

- ・順応性ガバナンス（柔軟性をもったプロセス重視のガバナンス）
- ・新計画には、合意形成や担い手、順応性に関わる記述があるとよい。ローカルな地域戦略だからこそ、みんなが使える計画を！

ゲスト 宮内 泰介さん
(北海道大学大学院文学研究院 教授)
参加者数 99人

3. 災いを恵みに変えて -自然豊かで安全・安心な地域づくり

- ・グリーンインフラを使った生態系ネットワークの構築（河跡湖の活用）
- ・自然再生は気候変動適応策としても機能する。
- ・NbS（自然を基盤とした解決策）として積極的に進めるべき。

ゲスト 中村 太士さん
(北海道大学大学院農学研究院 教授)
参加者数 52人

5. 生物多様性と農業・土地利用

- ・耕作放棄地の再利用と生物多様性保全
- ・防風林、林縁、林内、更新地、草原等それぞれに様々な生物種が生息している。景観全体をみたとときに生きものと農業とのかわり方が課題となる。

ゲスト
赤坂 卓美さん（帯広畜産大学）
関 健志さん（公財）日本生態系協会 専務理事）
参加者数 89人

6. 再生可能エネルギーと生物多様性保全の両立

- ・継続的な事後のアセスメントと、予防的運用
- ・多様な主体が連携して生物多様性保全を目指す
- ・戦略的なゾーニングの必要性

ゲスト
風間 健太郎さん
(早稲田大学人間科学部 野生動物生態学研究室 准教授)
野本 和宏さん（釧路市立博物館 学芸員）
参加者数 172人

1. 生物多様性をめぐる現状とこれから（総論）

- ・生物多様性地域戦略：地域レベルの取組を総合化する枠組となり、NbSの考えを取り入れた持続可能な地域づくりの重要な手段として発展することを期待。
- ・地域に暮らす人たちが地域の自然、生物多様性の将来像、ランドデザインを描き、その実現に向けて大きなうねりをつくりだそう！

ゲスト 渡辺 綱男さん
(一財)自然環境研究センター 上級研究員)
参加者数 78人

4. OECM-新しい自然保護区の可能性と課題

- ・OECMで、どう付加価値をつけて地域計画するか、ビジネスとつなげるか。
- ・生物多様性、リサイクル、脱炭素をセットで対策できるような活用や施策が求められる。
- ・OECMによって保護区指定ができると、魚の良好な生息地や流域を保全するのに活用できるのでは。

ゲスト 三橋 弘宗さん
(兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員)
町田 善康さん(美幌博物館 学芸担当主査)
参加者数 89人

モデレーター（対話セッション進行）

吉中 厚裕さん（酪農学園大学 環境共生学類 教授）
長谷川 理さん（NPO法人EnVision環境保全事務所）



本事業のアーカイブは
QRコードからご覧ください

EPO北海道webサイト

7. 再生可能エネルギー導入における生物多様性保全への配慮～北海道環境審議会での議論から

ネイチャーポジティブを達成させるために、急速に進んでいる脱炭素の動きと連動して自然再生への取り組みや対策を考えていくことが必要ではないか。

報告
中村太土さん
(北海道環境審議会会長/北海道大学大学院農学研究院教授)
吉中厚裕さん
(酪農学園大学環境共生学類教授/北海道環境審議会自然環境部会長)
参加者数 176人



オンライン開催の様子

8. 地域の環境保全と再生可能エネルギーの両立をめざす自治体の取り組み

- ・関係市町村の間で連携がとれるよう、北海道や振興局が仲介する役割を担ってくるとよい。
- ・道や国からの生物情報の共有があれば、ゾーニングが進めやすくなり、条例策定がしやすくなるのではないか。

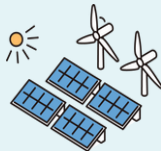
ゲスト
高松 一哉さん(鶴居村 企画財政課長)
小林 雅博さん(浜中町住民環境課環境政策係兼生活環境係 係長)
時崎 宗男さん(石狩市環境市民部環境課環境政策担当係 課長)
参加者数 99人

9. なぜ自治体が生物多様性保全に取り組むのか～地域戦略の意義

- ・今後、地域全体の脱炭素を目指す中で、生物多様性を計画にどのように盛り込んでいくのかが重要になるのでは。
- ・国や道から地域戦略を策定する支援があると、今後戦略を策定する自治体が増えていくのではないか。

ゲスト
高橋 恵美さん(石狩市環境市民部自然保護課/石狩浜海浜植物保護センター主任)
高橋 興世さん(黒松内町企画環境課 上席主幹/元プナセンター長 首席学芸員)
白川 勝信さん(登別市観光交流センター副センター長・学芸員/元北広島町立高原の自然館学芸員) 参加者数 124人

生物多様性保全と脱炭素の両立



環境省北海道環境パートナーシップオフィス
(EPO北海道)

<https://epohok.jp/>
北海道地方ESD活動支援センター
<https://hokkaido.esdcenter.jp/>

札幌市中央区大通西5丁目11番 大五ビル7階
TEL : 011-596-0921
MAIL : epoh-webadmin@epohok.jp